

【令和6年度 公共事業評価監視委員会】

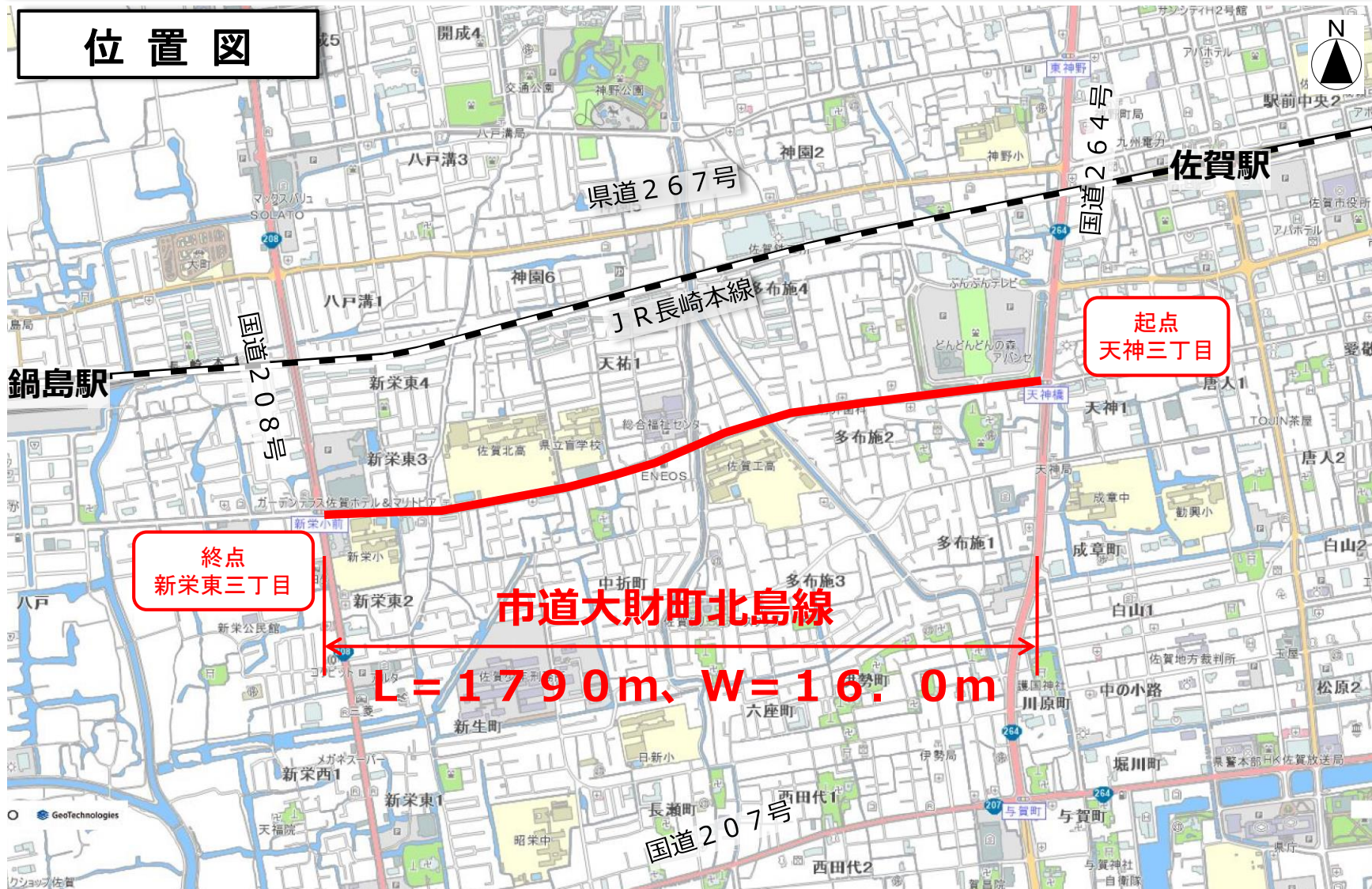
市道大財町北島線道路整備事業 (事後評価)

令和7年2月4日

建設部 道路整備課

事業の概要(1)

位置図



事業の概要(2)

事業概要

- 路線名 : 市道大財町北島線
- 起 点 : 佐賀市天神三丁目 (天神橋交差点)
- 終 点 : 佐賀市新栄東三丁目 (新栄小前交差点)
- 延 長 : 1,790m
- 幅 員 : 16.0m(両歩道)
- 全体事業費 : 6.7億円
- 事業期間 : 平成25年度 ~ 令和4年度
- 事業内容 : 改良工 L=1,620m、カラー舗装 A=5,019㎡
横断防止柵 L=1,947m、
視覚障がい者誘導ブロック L=3,604m、
ポストコーン L=250本

事業の概要(3)

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
整備延長 (m)	—	—	140	170	270	360	280	130	190	80
累計整備延長 (m)	—	—	140	310	580	940	1,220	1,350	1,540	1,620
事業費 (百万円)	5.0	12.5	53.9	64.2	95.8	119.8	82.8	84.5	97.2	54.3
累計事業費 (百万円)	5.0	17.5	71.4	135.6	231.4	351.1	434.0	518.5	615.7	670.0
進捗率(%) (事業費ベース)	0.7	2.6	10.7	20.2	34.5	52.4	64.8	77.4	91.9	100.0
工事内容	測量 設計	測量 設計	改良工 舗装工	改良工 舗装工	改良工 舗装工	改良工 舗装工	改良工 舗装工	改良工 舗装工	改良工 舗装工	改良工 舗装工

※事業延長1,790mのうち170mは都市計画道路八戸天祐線の取付工事で施工

事業の目的

整備課題

<整備前>



歩道内で歩行者と自転車が錯綜

<整備前>



段差
(マウンドアップ)

乗入部

乗入部の段差が通行の障壁



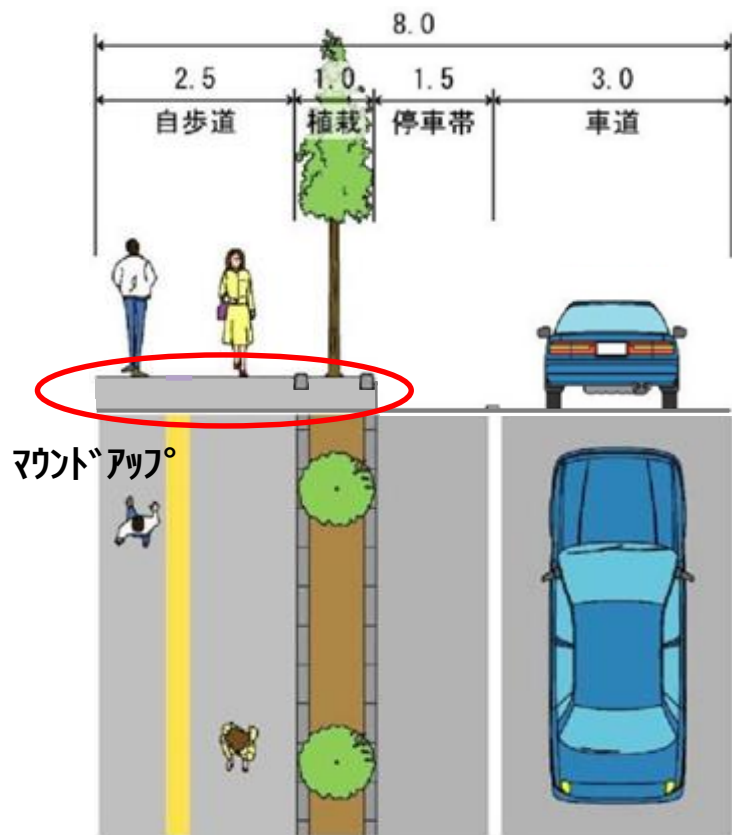
整備方針

すべての人々（歩行者、自転車、自動車等）が安全で快適に通行できるバリアフリーに対応した道路とする。

- 現況道路幅を変えずに、歩行者、自転車、自動車の再配分する。
- 歩道が車道より高いマウンドアップの歩道となっているため、車道を上げて歩道の段差解消を行う。
- 自転車の走行空間について、歩道内での歩行者との視覚的な分離を図る。

整備イメージ

整備前



整備後



事業効果・目標の発現状況(1)

事業効果

「歩道内の通行区分が明確化され、段差も解消されたことで歩きやすくなった。」



- 歩道をメインとした道路空間の再配置により、歩行者と自転車の通行区分の明確化が図られた。
- 車道より一段高い歩道の段差解消により、歩道利用者のバリアフリー化が図られた。

<整備前>

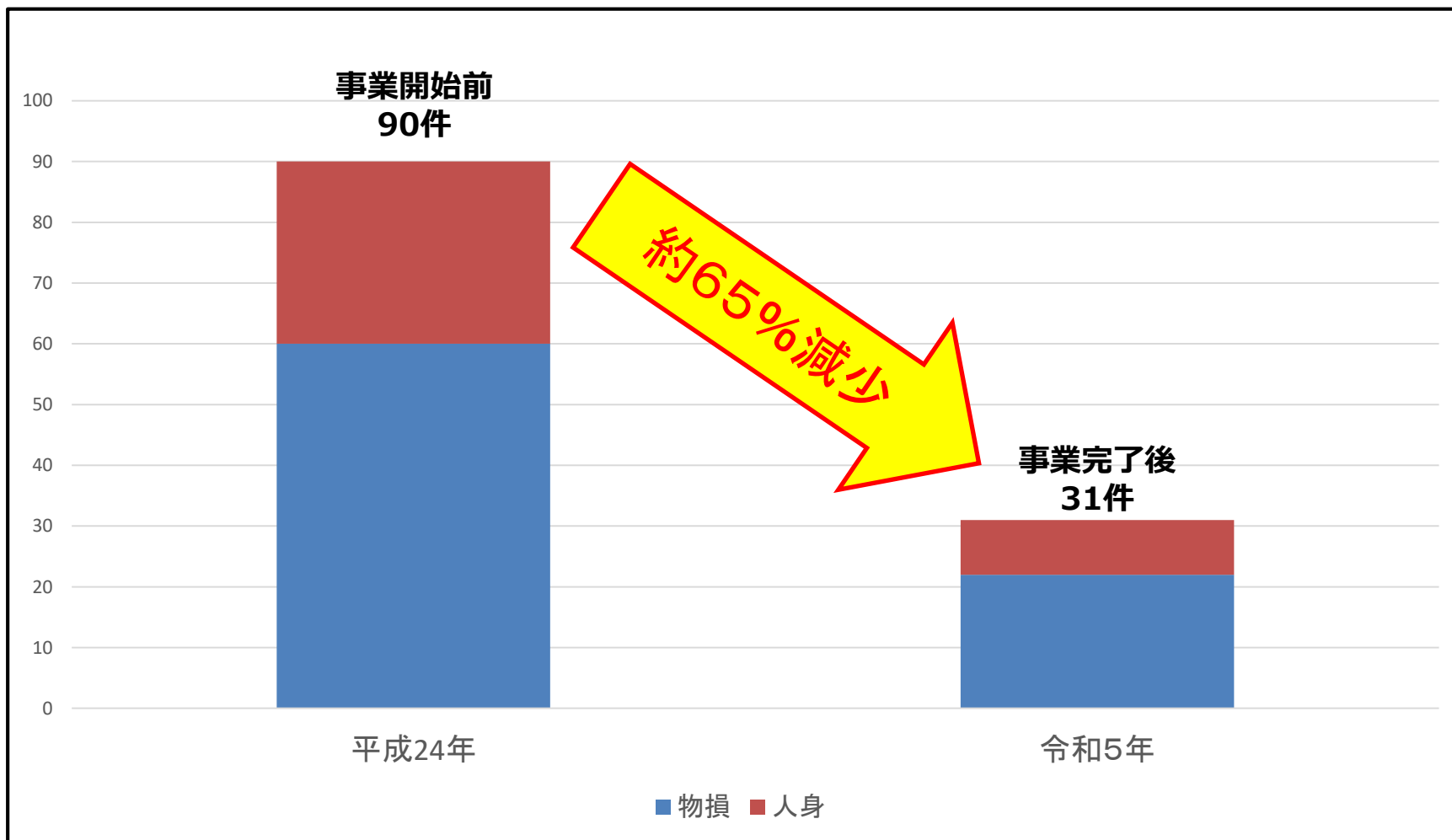


<整備後>



事業効果・目標の発現状況(2)

交通事故の推移



改善措置の必要性

- **本事業により、交通事故の件数は減ったものの、公共施設が多く、自転車の通行量も多いことから、安全対策が必要な箇所について警察と連携を図る。**
- **本路線については、高校生の自転車利用が多く、整備完了後に沿線の高校に対し自転車マナーのチラシ配布を行った。**
その後も、自転車で並走する生徒が見受けられるため、引き続きチラシ配布等によりマナー教育について学校を通じて周知を図る。